



四日市支部だより

2013年10月10日発行
 2013年3号(通巻11号)
 昭和シェル社友会四日市支部
 支部ホームページ
<http://www.7a.biglobe.ne.jp/~yokkaichi-ob/>

平成25年度夏季懇親会

冷えたジョッキの一杯で酷暑に打ち勝つ

開催日：平成25年8月22日(木) 午後0時15分～3時
 会場：四日市アサヒビアケラー(近鉄四日市駅北口前)
 参加者：46名



佐藤社長と歓談

会員の動き (敬称略)

- ◎支部会員数 329名 (10月1日現在)
- ◎新入会者
 川村 雄次 (9月) 斉木 一彦 (9月)
 萩 博貴 (9月)
- ◎お悔やみ
 前田 省三 (70歳) (7月13日)

全国各地で観測以来の最高温度が次々と更新される酷暑の中、昭和四日市石油(株)の佐藤社長を迎えて、6回目となる夏季懇親会が開催されました。

塩野支部長の開会挨拶に続いて、佐藤社長より業界の動向、四日市製油所の現状と現在取り組んでいる「人財力アップ全社運動」についてお話し頂きました。

恒例の卓話は、久保康生さんに『私の釣り人生』と題して、釣果の素晴らしい魚拓と写真を展示して熱く語って頂きました。

『私の釣り人生/コイ物語』

ここに久保さんの卓話を紹介します。

「私の釣りの楽しさや知識は父から教わり、ここにある父が残した大鯉の魚拓が、私の宝物となっています。」

「65年前に新潟県の田舎の川で、私が助手となって、大鯉(64cm・3.8kg)を父が釣り上げました。」

この時の様子を魚拓と見取り図を使って披露されました。

「私の一番の大物は、65cmのヒラメです。これはキス釣りの外道(目的外で釣れた)でした。まず、キスが針に掛り、そのキスにヒラメが食いついて、水面まで上がってきたところを、船長が絶妙なタイミングでタモに入れた次第です。」

「現在も良き釣り仲間にも恵まれ、鳥羽方面の船釣りを楽しんでいます。」



久保さんの卓話

(上2枚の魚拓は大鯉
 ・下の写真は65cmのヒラメ)

冷えたビールで乾杯

卓話の後、島田進さんの乾杯で懇親会が始まり、皆さんがジョッキやワイングラスを片手に和気藹々のムードで盛り上がりました。

会場内に談笑の場が広がっている中、黄田治明さんによる中締め音頭で再会を誓ってのお開きとなりました。

忘年会のご案内

例年なら秋を感じる時季ですが、酷暑の夏の延長で高温傾向の秋となっています。皆様に於かれましてはお健やかな日々をお過ごしのことと存じます。

今年の忘年会は、下記のように会場を変えて開催いたします。皆様お誘い合わせの上、ご参加をお願いいたします。

記

- 日時 **12月7日(土)** 12時15分～15時
(受付開始 11:45)
- 場所 **「プラトンホテル四日市」5階**
四日市市西新地7-3 TEL 059-352-0300
(近鉄四日市駅北口から徒歩3分
三重銀行本店南隣)
- 申込締切 **11月20日(水)**
- 会費 **5,000円** (当日ご持参下さい)
- 申込・問い合わせ先
幹事 富山 実 TEL 059-393-4861
幹事 市川 義行 TEL 059-370-0705

※申し込まれた後、キャンセルの方は12月3日夕方までにご連絡下さい。以後はキャンセル料が必要となります。

※従来、ハガキでご案内していた方には、今回からハガキはお送りしません。この案内がハガキに変わるものです。参加連絡をお待ちします。

※eメールアドレスを登録されている方には、改めてメールでご案内します。メールで参加の可否をご連絡ください。

昭和四日市石油 歴史展示室

および構内見学会に参加して

塩野 輝雄



SBMの巨大アンカー(錨) モニュメントの前に集合

開催日 : 平成25年8月30日(金) 午後1時~3時30分
 集 合 : 塩浜クラブ
 参加者 : 44名

昭和四日市石油株のご好意により、この度オープンした製油所の「歴史展示室」見学及び構内見学会を開催していただきました。

当日は、支部会員全員に送った案内はがきで応募があった参加者が塩浜クラブに集り、製油所のバスで事務所玄関へと向かいました。玄関脇の巨大アンカー(錨) モニュメントの前で集合写真を撮ってもらいました。人の背丈の倍以上もあるアンカーは、撤去されたインナーSBMを海底に繋ぎとめていた12本のアンカーの内の1本です。磨かれ、塗装されて事務所脇に展示されています。

その後、会議室で佐藤社長による歓迎の挨拶とプレゼンテーションがあり、製油所がおかれている現状、将来に向けて製油所が生残るためになさねばならないこと、「人財力アップ全社運動」のこと、「TTP(徹底的にばくる)運動」のこと等、今、製油所で一丸となって取り組んでいることについて熱く語られました。

次に、2つの班に分かれて行動することとなり、各々つぎの順に見学をしました。

A班 : 歴史展示室 ⇒ 建設譜上映 ⇒ 構内見学

B班 : 構内見学 ⇒ 歴史展示室 ⇒ 建設譜上映

歴史展示室見学

佐藤社長の案内で、事務所ロビーに架けられている大きなRESIC装置の夜景、当日入港の原油船、正しい作業着の着用などの写真を見た後、花で飾られた中庭の道を通り、歴史展示室へと向かいました。

歴史展示室は、食堂の入り口を入って左側の以前からある5m×7m程度のこじんまりした部屋を改装したもので、この入口と出口には、昭和四日市石油のシンボルカラーにちなんでモスグリーン色の暖簾が掛けられていました。窓にはしゃれたスタンドグラスがはめられ、海軍燃料廠当時の天井のコンクリートがそのまま

見学会参加者 総計44名 (敬称略)

市川 義行、伊藤 孝司、伊藤 直紀、伊藤 泰義、色川 龍秋、大倉 義章、小川 佳男、奥山 寿一、小野 明男、河戸 茂治、北島 光雄、北村富士夫、久保 康生、黄田 治明、小嶋 佐重、小島 弘次、小林 信隆、佐合 香、佐々木俊彦、佐藤社長夫人、佐藤 弘二、塩野 輝雄、添田 亮三、高橋 昭吉、田中 彪、伝田 貢、富山 実、豊村 正和、中村 衛、橋本 久雄、濱田 一、早津 堅、速水 清、原川 孝光、前川 忠明、三枝樹昭道、巳上 一志、水谷 勲、溝川 伸一、溝渕 忠文、三谷 力、光本 哲夫、山崎 嘉嗣、山中 忠志

残され、見ることができるようになっていました。室内は、時計回りに壁に掛けられたパネルや展示品を、順に見られるようになっています。

最初の展示コーナー

明治時代の三重郡 塩浜村の絵図から始まり、海軍燃料廠時代の写真、昭和30年代初期の四日市製油所建設時代の写真が飾られています。また、壁には、昭和四日市石油の建設から始まり、今日に至るまでの製油所の歴史を記したパネルが掛けられています。その下には、製油所竣工記念として昭和33年5月に社員に配られたタバコとマッチ及び記念ハガキ等が社友会会員から提供された展示品として置かれていました。



佐藤社長の説明を耳に、展示品に見入る

第2展示コーナー

昭和47年の四日市公害裁判に端を発した、製油所の環境改善に向けた努力の歴史、及び現在の製油所の環境改善への取り組みがパネル表示されています。

第3展示コーナー

製油所で働く仲間達の歴史で、昭和40年代まで使用されていた計算尺の実物、当時社員が個人用として使用していたポケット版マニュアルの「工事要領書」、「SBMハンドブック」等が机の上に並べられています。また昭和34~38年に使用されていた顔写真入りの身分証明書、社員バッジ等があり、昭和30年代



の作業服の実物もありました。

今は無い羽津社宅の全景写真、大町の“まつかぜ荘”と湯ノ山の“山映荘”の玄関に掛けられていた銘板の実物があり、思い出をよみがえらせてくれます。

昔を懐かしむ (働く仲間達の歴史のコーナーで)

第4展示コーナー

製油所の未来への挑戦のコーナーです。「人財力アップ全社運動」、「大規模地震への対応」等の説明がパネルに書き込まれ壁に掛けられています。

「建設譜」觀賞

歴史展示室を見せて頂いた後は、会議室に戻り、製油所第1期建設の記録映画「建設譜」の短縮版が上映され、懐かしい映像に見入りました。

構内見学

会社のバスに乗り、長田総務課長の案内で構内見学に向いました。バスから見る構内の風景は、以前の装置や建物がなくなり、新しい装置になったところもありましたが、当時と全く変わっていない装置や設備も多くあり、なんだかほっとした気分になりました。

RESICの計器室は、我々の時代の計器室とは全く様子が違っていました。グラフィックパネルが見当たらず、机の上に並べられた何十台ものディスプレイがあるだけで、時代の移り変わりをまざまざと感じさせられました。

最後になりましたが、いろいろとお世話頂きました佐藤社長及び製油所スタッフの皆様には心より感謝申し上げます。有難う御座いました。

ゴルフ部

四日市・中部支部交流ゴルフコンペ開催

開催日：平成25年9月24日(火)
 場所：三重 C. C. (三重郡菰野町)
 参加人数：19名(中部10名・四日市9名)



秋晴れ・最高のゴルフ日和と思われたが、蒸し暑く・真夏のような天気と、相変わらず難しいグリーンに翻弄され、イライラしながらも全員無事にホールアウトした。

この日は、「三重カンカップ」が開催されており、私たちのグループも全員が参加(参加費は無料)し、午前中のハーフで集計のため、上がった時点で結果が判り・賞品が渡され、飛び賞に入った人・ゾロ目賞に入った人・タマゴの人(参加賞)と、思わぬ賞品にニコリでした。

その後、和気藹々の中・表彰式とパーティーを行い、次回は来年3月に実施する事を確認して解散しました。

成績

- 優勝：田中清彦(中部支部)
- 準優勝：島利彦(中部支部)
- 三位：青山明雄(中部支部)
- 四位：長谷川年英(四日市支部)
- 五位：太田洋(四日市支部)

四日市支部・参加者

伊藤茂、伊藤泰義、
 太田洋、大橋庄一、押川信之、富山実、
 長谷川年英、藤波耕造、佐藤弘二(記)

連絡先：佐藤弘二さん TEL.059-326-0309

e-メールアドレス登録のお願い

パソコン等でインターネットを利用されている方で、社友会にメールアドレスを登録されて無い方は、メールアドレスをお知らせください。支部行事のご案内、緊急連絡、ホームページの更新情報やその他の社友会情報を適宜お知らせします。

ぜひ登録をお願いいたします。

お知らせいただいたメールアドレスは厳重に管理します。登録は、下記によりお願いします。

記

- ① e-メールで、次の必要事項を記載して送信ください。
- ② 宛先は、幹事の市川義行さん
 メールアドレス：qw5y-ickw@asahi-net.or.jp
- ③ 件名に「メールアドレス登録」と記入ください。
- ④ 本文欄に、氏名と念のためメールアドレスを記載ください。
- ⑤ ②～④記載のメールを受信後、折り返し登録確認のメールをお送りします。

以上

ウォーキング部

9月のウォーキング会

亀山からJR紀勢線沿いを歩く

開催日：平成25年9月14日(土)
 ルート：JR亀山駅～JR土庄～一身田高田本山～
 近鉄高田本山駅(距離20キロ)
 参加者：8名

真夏を思わせる厳しい残暑のなか、亀山から紀勢線に沿って、久しぶりのウォーキング。

10時にJR亀山駅をスタート、里山や田舎道を汗を拭きながら進む。途中に咲く夏の花の「さるすべり」や、ちょっと早いが彼岸花を見て、心が癒されました。

久しぶりの20キロではありませんでしたが、高田本山の限界で喉を潤し、元気よく近鉄高田本山駅にゴールしました。



高田本山にて

後列：原川孝光・伊橋健治・高木勉・伊藤利男・中村衛(記)
 前列：福本泉・喜吉雄・伝田貢

連絡先：福本泉さん TEL.059-321-6869
 福永立吉さん TEL.059-331-5660

釣り天狗

鳥羽湾沖でイサキ釣り

7月3日(水)鳥羽湾へイサキ釣りに向かう。午前5時30分「充丸」(乗り合い船)に乗船し、約40分後に鳥羽湾沖に到着。早速、イサキ釣りを開始。

まずまずの天候に恵まれ和気藹々の内に、約5時間の釣りを楽しみ、正午ごろ鳥羽港へ帰港、帰路についた。



釣果：イサキ
 15～45匹
 サイズ：25～35cm
 その他：アジ、サバ、
 カサゴ少々



参加者：久保・山路・北川
 ・池田・原川(記)

次回：11月中旬
 アジ&カワハギ釣り

連絡先：原川孝光さん TEL.059-326-3287